

# <H30 キャリアガイダンス講座紹介>

## 講座 1

---

### 根津 昭義 先輩（19回生）

元・NHK交響楽団（東大物理卒業→芸大卒業→N響）

演題『その仕事が楽しくて好きであることが決め手』

#### 【講演概要】

1. 私の人生紹介

子供の頃からN響入団まで

2. 世に出るための準備

いつ来るか分からないチャンスを確実にものにするために必要なものは？

3. 世に出てから

世に出たらそれで終わりではありません。それから何十年とそこで仕事をするのです。

単にデビュー当時のレベルを維持するだけでなく、更なる高みに飛躍しないといけません。

組織の束縛のストレスは想像以上のものがあります。精神の健康を保つためにも上手に発散しないといけません。

その仕方には色々なものがあります。自分に合った方法を見つけましょう。

最後の決め手は自分がその仕事が楽しくて好きであることです。好きであれば少々の苦勞もいとわずにやっていきます。

## 太田 公子 先輩（19 回生）

フリーアナウンサー

元福島 TV・テレビ神奈川（TVK テレビ）アナウンサー

演題 『なつてよかつた、アナウンサー』

### 【講演概要】

何度も壁を乗り越えてきた、私の人生を語ります。

私の人生70年には、乗り越えなければならない壁がたくさんありましたが、何とかクリアしてきましたし、今も戦いは続いています。しかし、そうすることが私の喜びでもあります。

- ①大学受験を諦めざるをえなかった家の経済状況。
- ②2番目に生れた娘に障害があったこと
- ③選挙活動が1回で当選できず、4回目に当選し、5回目に落選したこと
- ④パーキンソン病になり、車の運転をやめたこと。病気の進行の心配

そして、がんばれる源は、私の天職（天から与えられた職業）がアナウンサーだったこと。

今でも、住まいの川崎市宮前区の区民祭などの区役所のイベントの総合司会を担当。それは、みなさんのお役に立つだけでなく、私の元気を引き出してくれることでもあります。

## 佐藤 重和 先輩 (20 回生)

元・外務省オーストラリア大使、タイ大使

### 演題 『外交、外務省、国際関係機関について』

#### 【講演概要】

1. 進路：迷いに迷う。「生まれついで」は極く一部の人。
2. キャリアを築く時代背景は今日と全く異なる。当時は、①成長、拡大、発展の時代、海外への関心、好奇心②試験→大企業、官庁で一生。今は不確実、流動化、大競争。 日中国交正常化(1972年)
3. 当時は国家公務員試験とは別のいわゆる外交官試験。今は相対化されてきたが求められるものはやはり違う。総合職(旧I種)と専門職
4. 研修制度：語学別に海外留学、自分は中国(復旦大学、中国文学)、米(ハーヴァード大学修士課程)、その後、日本勤務⇔海外赴任の中でより責任あるポストへ  
東京の外務省(本省) 約2300人  
在外公館(大使館、領事館、国際機関代表部) 約3500人
5. 「外交」のベースはあくまで国内、国益：世論、政治、国会、ビジネス  
cf.国際機関、国際団体
6. 「外交」は総合的：安全保障、経済から文化まで、cf.JICA, 国際交流基金
7. 華やかなものでなく(高級ワイン、タキシード?)、地道な努力の積み上げ→関係の構築。大使館の役割は教科書的には①情報収集②交渉③自国民保護、実際はより幅広く。
8. 「自転車に乗って天安門」：1989年、天安門事件の現場で
9. 大使の仕事：香港、豪州、タイ
10. 英語の重要性：世界の共通語、英語を話す中国人>米国人
11. Appleもトヨタも外務省もいつどうなるかわからないが、「国」という組織が存続する限り「外交」は続く。最も古い職業の一つ

## 太田 正行 先輩 (23 回生)

### 元新宿高校教員 (社会科)

#### 『演題』 教師に求められるもの

- 1 自己紹介：大学・大学院で法律学を専攻。国立・公立・私立の中学校・高等学校・大学で 40 年以上「教師」をしてきました。
- 2 教師を目指した理由：新宿高校 3 年間の様々な体験が大きな理由だと思います。
- 3 教師という仕事：教科の授業が中心ですが、それだけではありません。
- 4 教師を目指すには：大学への進学。学部は教育学部（教員養成学部）か一般学部か
- 5 教師に求められるもの：教科や教職の知識と技能、熱意と使命感、子どもの良さや可能性を引き出しのばす力、責任感や協調性など
- 6 高校時代にやっておくこと

## 酒井 邦彦 先輩（24 回生）

弁護士・前広島高等検察庁検事長

演題『法律家になって社会を良くしませんか！』

### 【講演概要】

- 1 なぜ法律家になってしまったのか。そしてなぜ検察官に？
- 2 法律って世の中にとってそんなに必要なの？
- 3 捜査のプロとして超難事件に挑む
- 4 検事の仕事の多様性
  - ・ 外交官になる
  - ・ 国連で働く
  - ・ ODA でアジア各国の法律を整備する
- 5 良き社会を創る
  - ・ 子どもの虐待を防ぐ
  - ・ 薬物依存者の回復を助ける
  - ・ 再犯を防ぐために福祉と連携する
- 6 弁護士として企業の仕事をする
- 7 法律家になるには
  - ・ どんな人が向いているの
  - ・ 試験はあるの？

## 佐野 良雄先輩（24 回生）

国立大学法人名古屋大学大学院経済学研究科 教授

### 演題「グローバルに生きる、グローバルで仕事をする」

#### 【講演概要】

「グローバル」という言葉を知っていますか。Globe は「地球」という意味です。「グローバル化」とか「グローバル企業」のような使い方をします。日本では海外で仕事をするとか、日本に多くの外国人が入ってくることをグローバル化と呼んでいるようですが、実態は大きく異なります。社会がデジタル化・フラット化し、ヒト、モノ、カネが国境を越えて「地球規模」で動き回る状況のことを表しています。

では「グローバル人材」とはどんな人のことを言うのでしょうか。私の定義では「自分の国の文化や歴史をよく理解し、それを異文化の人と英語で語り合い理解できる人」がその出発点だと考えています。高校時代から英語が好きでした。大学は英語学科専攻でした。将来海外で仕事がしたいと思い就職は総合商社を選びました。37 年間の商社マン生活で訪れた国は 50 か国以上になりました。本当に色々な国で様々な人と仕事をしてきました。

2013 年から名古屋大学経済学部で教鞭を取っています。海外勤務の経験を活かし、日本人学生にはグローバル化やグローバルで働く意味を経営学の観点から伝え、外国人留学生には日本と日本人について理解を含めてもらえるよう英語で講義やセミナーを行っています。

なぜ私が海外に興味を持ったのか、なぜ商社を選びさらに教職についたのか、どうしたら英語が好きに（うまく）なるのか、自分の高校生時代に考えていたことを思い出し、新宿高校生みなさんのキャリア形成の参考にしてもらいたいと思います。

## 篠原 厚子 先輩 (25 回生)

清泉女子大学人文科学研究所教授

### 演題 『薬剤師を目指した理由、研究職に進路変更したのは面白かったから』

#### 【講演概要】

新宿高校在学中、放課後はバドミントン部でシャトルを追いかけていました。小学生のころから、将来は自分で食べていける職に就くと決めていました。薬剤師は女性が働くのに向いている職業であること、理科系の科目は基本的に好きであったことから大学は薬学に進みました。大学3年から研究室に出入りし、実験が面白くなり、もう少し続けたいと考えて大学院に進学しました。大学院の先輩から、博士課程までいくと就職は難しいと忠告されましたが、いざとなれば薬剤師として働こうと思いあまり不安はありませんでした。結局、大学院修了後4年間は無給助手として働き、その後、幸いなことに別大学の有給の助手のポストを得ることができ、さらに別の大学に異動して現在に至っています。この間、結婚し、周りの協力を得ながら子どもを育て、親を見送りました。大学の教員は多くの学生と接する仕事であり、特に現在は学生担当の役割についていることから、悩みや障がいを持つ学生のサポートに関わることも多く、考えさせられることが多い日々を過ごしています。

薬学は平成18年に、4年制から6年制に変わり、長期間にわたる実務実習も課され、臨床領域の授業や実習が増えました。薬剤師の国家資格が得られることは大きな利点である一方、実験や実習があるので、特に私立大学においては比較的授業料が高いこと、病院や薬局で働くための実務実習を行うことから、実験・研究の時間が減ることになり研究職を目指す人にとっては悩ましい部分もあるように思われます。

薬学に進んだ場合の将来の仕事の選択範囲や動向についての話に加えて、結婚、出産、子育てを含めた人生設計や、生涯にわたる健康保持・増進についても、女子だけでなく男子にもお話ししたいと思います。

## 植田 益朗 先輩 (26 回生) アニメプロデューサー

演題 『アニメプロデューサー、一度やったらやめられない』

### <講演概要>

COOLJAPAN の申し子は全世界の共通語、

どこの国でも話ができ、会話が続く

海外イベントで、当たり前サインや、握手を求められ、Star になった気持ち

いい年こいて、漫画やアニメ でも

人が喜怒哀楽を求める限り、エンタメコンテンツは不滅

そんなコンテンツが、人の人生を変える

ガンダムはそんなコンテンツ

全くアニメに興味がない男が、40 年付き合ってしまった

そんなことがある

それが人生、それも人生

出会いはどこにでもある、常に興味のアンテナを持っていれば

面白いことはたくさんある

人生 100 年時代と、粘る年寄りを早く追い出す、

スーパーマン&ウーマンを求む

## 三矢 恵子 先輩 (26 回生)

NHK 放送文化研究所 メディア研究部 研究主幹

### 演題『メディアで何を伝えたいのか』

メディアと一口に言っても、テレビ、新聞、ラジオ、本、雑誌、そして今はネット、…と様々です。私が働いているテレビに限っても、ニュース、報道番組からドキュメンタリー、ドラマ、バラエティ、…と番組の種類は多彩ですし、そこで働く人の職種もバラエティに富んでいます。でも、共通して大切なのは、メディアを介して「何を伝えたいのか」を明確に持っていることだと思います。

NHK での 30 年余の経験の中で感じたことを、お話したいと思います。

#### 1. 10 代～20 代前半

高校時代、自分がマスコミで働くことになるとは思っていなかった。  
教員養成大学の大学院まで進んだが、当時、院卒の女性が受けられたのは、教員かマスコミか公務員。運よく受かった NHK に入局。

#### 2. 20 代後半～40 代前半

大学では全く学んだことのない「世論調査」の企画・分析・報告をする部署に配属。OJT で、世論調査について学んだ。大学の専門分野で学んだことは、物ごとのとらえ方、考え方のベースになっている。一方、実践的なスキルは、社会人になってから身につけたことのほうが多い。

#### 2. 40 代後半～

管理職となって、後輩を育成する立場になり、メディアで働く上で大切なことがみえてきた。知識が豊富なだけでは、いい仕事はできない。「伝えたい何か」を持っていることが大切。そして、へこたれない前向きな気持ちも。さらに、仕事は 1 人ではできない。人に助けられ、人を助けの繰り返し。

## 関戸 由美子 先輩 (30 回生)

元資生堂 広報、人事担当

### 演題 『「自分を育ててくれる場所」で生きる』

私の社会人生活は、「社会の掟」に直面することから始まりました。その厳しさに、22歳の私は立ちすくんでしまう思いでした。しかし、社会人(会社員)としての30年間で振り返ると、その厳しさが私を鍛えてくれ、一人前に育ててくれたと感謝しています。もちろん、厳しさばかりでなく、人の温かさもありました。

厳しさと温かさの中で、私はどうやって働いて(生きて)きたのか、ささやかな体験をお伝えします。

1. 身をもって知った「驚き」と「学び」
  - 1-1. 社会の掟
    - ◆入社前日の腹痛(22歳)
    - ◆「花椿」誌(22歳)
    - ◆約束(23歳)
  - 1-2. 先輩の愛
    - ◆仕事先で、置き引きに遭う(24歳)
  - 1-3. 現象にとらわれるな、本質を見よ
    - ◆美容に教わる
2. リハーサルを始めよう
  - 2-1. 場数を踏む
  - 2-2. 「締め切り」を設けてみる
  - 2-3. 「生の」コミュニケーションをする
3. 皆さんへのエール
  - 3-1. 語尾を「～たい」に換えてみる
  - 3-2. 自分の「ニンジン」を見つける
  - 3-3. ひとの力を借りる

以上

## 中越 一統 先輩 (31 回生)

公認会計士 リソース・グローバル・プロフェッショナル  
ル・ジャパン(株)ディレクター

### 演題『公認会計士の業務について』

#### 1 2. 略歴

##### 学生時代～

- ・ バイオ系に関心があり一浪して東大理科二類に入学 高校時代はラグビー部
- ・ 農学部水産学科に進学して魚の病気の研究 大学時代もラグビー部

##### 卒業後～

- ・ 明治製菓に技術職で入社。数字を読める技術者になれというアドバイスを  
簿記の勉強。
- ・ 簿記が面白くなり会計に興味を持ち本格的に勉強をはじめ会計士試験に合格。
- ・ 監査法人に転職。
- ・ オレゴン大経営大学院に留学 (いわゆる有名校は全敗) 大学院でもラグビー部
- ・ 監査法人に戻った後、外資系メーカーに転職してその後コンサル系企業へ . . .

#### 1 3. 公認会計士の業務について

##### 2-1 公認会計士の試験制度

- ・ 短答式試験・論文式試験 (受験資格の制限なし。高校生も受験可)
- ・ 試験合格後に会計事務所等で実務、研修所での研修を経て公認会計士登録

##### 2-2 公認会計士の主要な業務

- ・ 監査 ー 大企業等の決算書をチェックして適正か否か意見を表明
- ・ 税務 ー 個人から企業までを対象として税金に関するアドバイス、申告書の作成  
(\*税理士登録して行なう。会計士は税理士試験免除)
- ・ コンサルティング ー 会計、税務等のプロとしてコンサルティングサービスの提供
- ・ 企業内会計士 ー 企業の従業員として経営に関与する (CFO,コントローラー)

#### 1 4. 公認会計士業界の魅力

- ・ 数字が読めると企業等の真の姿が見える (仕事として面白い!)
- ・ 個人から大企業まで対象業務の幅が広く需要が安定
- ・ 監査、会計のプロフェッショナルとしての社会からの高い信用

## 細矢 剛 先輩（34 回生）

国立科学博物館 植物研究部 グループ長

### 演題『多様性は宝』

#### 【講演概要】

私は、現在博物館で菌類の研究をしています。もともとは大学で菌類の分類の勉強をしました。その知識を生かして製薬会社の研究部門に就職し、有用な物質を生産する微生物を探索する研究を続け、学位も取得しましたが、ある時本社に転勤になり、全く違う仕事（糖尿病のクスリの研究・開発・営業戦略）に関わるようになりました。その後、縁あって再び菌類の研究の場に戻りましたが、今度は、菌類ばかりではなく、生物多様性情報を地球規模で扱う組織（GBIF：<https://www.gbif.org/> と <http://www.gbif.jp/v2/>）とも関わるようになり、国内ばかりでなく、国際的な連携にも参加するようになりました。

生物は、一種類だけで生きているのではなく、かならず他の生物と関わりを持っています。関わる種が多くなるほど、その関わりは複雑になります。複雑さは、環境変化に対応して生き残る力を与え、その複雑さが増すほど強固なものになります。その源泉は、いろいろな能力をもった様々な生物がいること（多様性）です。

多様性が重要なのはキャリアでも同じです。私は高校では生物部ではなく、英語部（ESS）で活動しました。製薬会社では研究部門と企画部門に所属し、全く異なる会社の機能を見ました。その後、博物館で働くようになって今日に至りますが、その間に培ってきた多様な経験や見聞きして学んだ情報・交流など、すべてが生活に活かされています。皆さんも高校の多感な時代に、多様な経験や知見を求めてみてはどうでしょう。

## 本間 謙 先輩（34 回生）

### JICA（独立行政法人国際協力機構）専門家

#### 演題『国際協力と異文化との闘い アフリカ勤務 14 年』

##### 【講演概要】

<国際協力って？国際協力を担っていくには？>

国際協力、国際緊急援助、青年海外協力隊、国際 NGO など報道や様々な場所でこれらの言葉を聞かれませんか？

国際協力とはどのような役割を担っているのか？

どうしたらそこに関わっていけるのか？

国際協力の現場はどうなっているのか？などなど発展途上国や国際的な活動に興味がある方に何かお伝えできればと思います。

どんな質問でも受け付けますよ！理系の人も歓迎！

<講演内容>

##### 1. 講演者本人の略歴

出発は新宿、そこから沖縄に渡り海で暮らし、地元に戻りビルで暮らし、北アフリカの漁村で暮らし、いま西アフリカの省庁で働く

漁業、商社、ベンチャー企業そして国際協力といろいろ渡り歩きました。

##### 2. 国際協力って、なに？なんのためにするの？誰がするの？

国際協力にはそこに関わっている人や組織それぞれの見方、考え方があると思っています。いくつかの例を示しますのでみなさんご自身で考えてみてください。

##### 3. 発展途上国で暮らし、働くこと

まあ一疲れるアフリカの日常生活！そしてその上そこで仕事！？・・・しかし、帰国した日本も同じく・・・

##### 4. 国際協力に関わっていくには？

必須なもの：挨拶できること、そして様々な違いを受け入れられること  
あったら便利なもの：語学力、元気な体

## 西村 雄一 先輩 (43 回生)

### 2010・2014 FIFA ワールドカップレフェリー

#### 演題 『夢と感動を支える者として』

##### 【講演概要】

駒沢サッカークラブジュニアユースでサッカーを始め、高校 1 年生の時には、新宿高校サッカー部に在籍。高校 3 年生の在学時に、「審判とはどんな存在であるべきか」と考えたことが審判員を志すきっかけとなった。2010 年 FIFA ワールドカップ 南アフリカ大会、2012 年ロンドン・オリンピックなど、国際大会で実績を重ね、2014 年 6 月に行われた FIFA ワールドカップ ブラジル大会の開幕戦、ブラジル対クロアチアの主審を担当。2015 年に 11 年間務めた国際主審を退任し、国内でのプロフェッショナルレフェリーとして活動を継続し現在に至る。

サッカー審判員に限らず、様々な場面で誰にでも求められる「見極める」能力。

その能力を極めるための審判員の取り組みから、「よい準備」、「ルールと向き合う」、「挑戦することの大切さ」、「スポーツから学ぶ人間力」などをお伝えいたします。

選手が夢をかなえられるように、そして、ファン・サポーターにサッカーを楽しんでもらえるように、毎試合全力で選手のために“誠心誠意”を尽くす「夢と感動を支える者」として、スポーツの素晴らしさや感動を皆様と共有しながらお話を進めてまいります。

## 原田 将史 先輩 (48 回生)

一級建築士・Niji Architects 共同代表  
日本工業大学・武蔵野美術大学 非常勤講師

### 演題『寝ても覚めても建築』

#### 【講演概要】

“建築”といっても、関わる業種は多岐にわたります。その中でも私は“建築家”という職業を選択しました。築の道を歩みだしてから今まで経験してきた、やりがいや苦勞したこと、モノをつくる喜びなど下記の話を中心にお伝えいたします。

#### 【建築とは】

建築とは何か。建築に関わる人たちとその役割とは。

#### 【建築家とは】

私が職業としている“建築家”とは何か。そして建築家という人生の紹介。

#### 【建築家への道】

私が建築家を志した時から新宿高校での日々、浪人時代から大学での勉学の日々、修行時代から独立して現在、そしてこれからの未来を紹介。

皆さんがこれから建築家を志す時、何をすべきか。

#### 【作品介绍】

修業時代から独立し建築家としての現在まで手がけてきた建築作品の紹介。

以 上